

# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ブロッコリー

ブロッコリーは冷涼な気候を好み、生育適温は18～20度です。小さいときは高温に強いが、つぼみの肥大期には耐暑性が弱くなります。一方、耐寒性もあまり強くなく、氷点下2度以下で凍害を受けます。7月下旬～8月中旬にまき、11～12月に頂部の花蕾(からい)を収穫し、その後側枝から小さい花蕾を春まで取り続けます。

## 側花蕾を春まで取り続ける

**[品種]** 花蕾が作られる早晩で早生、中生、晩生に分けられます。中生品種が作りやすく頂・側枝花蕾兼用の「ハイツSP」(タキイ種苗)、「緑嶺」(サカタのタネ)などが一般的です。「スティックセニョール」(サカタのタネ)は小さいつぼみで茎が柔らかく、たくさん取れる家庭菜園向きの品種です。

**[苗作り]** 直径7.5～9cmのポリポットを使い1ポット当たり3～4粒をまき、本葉2～3枚以上で1株に間引きします(図1)。苗作りの期間中は、寒冷しやで害虫の飛来を防ぎます。

**[畑の準備]** 植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。植え付け1週間前に畝幅70～80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥2～3kgを施し、土を戻してよく混ぜて、高さ10cm程度の畝を作っておきます(図2)。

**[植え付け]** 本葉4～5枚の頃、株間45cm程度に植え付けます(図3)。植え付け前には、植え穴に十分灌水(かんすい)して植え傷みの少ないようにします。

**[追肥]** 追肥は植え付け後20日ころ株元に化成肥料を1株10gくらいまいて、土寄せします。2回目は花蕾が見える頃に施用します。また頂部の花蕾を収穫後、側枝の発生を促すため、10gくらい与えます。

病害虫防除(ヨトウムシ、コナガなど)が多いので、トアロー水和剤CTなどで駆除します。

**[収穫]** 花蕾が大きくなり、小さいつぼみがはっきりと見え、固く締まった状態が収穫適期。長さ15～20cmに切り取ります(図4)。頂花蕾の収穫後、側枝から発生する小さい花蕾を春まで取り続けることができます。

図1 苗作り



図2 畑の準備

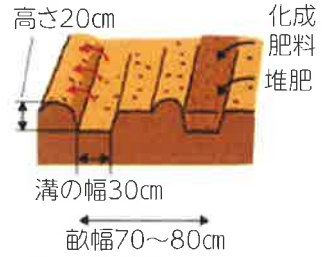


図3 植え付け

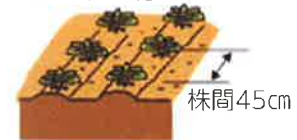


図4 収穫

